

米軍基地予定地は国定公園に指定され、丹後松島など雄大な景色が広がっています。近年はサーフィンの要所としても知られています。



ここが予定場所



写真右前方に米軍基地建設予定地（尾和区）

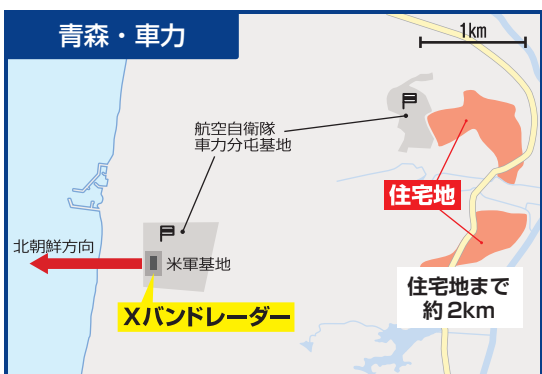


(提供：京都民報社)

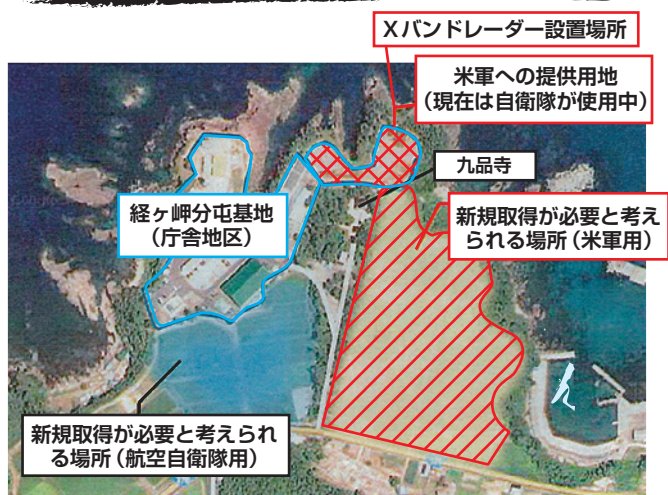
丹後 経ヶ岬に米軍基地

日米両政府は、米軍Xバンドレーダーを京丹後市の経ヶ岬に設置するために米軍基地を建設しようとしています。私たちは、住民の安全、今後のこの地域のまちづくりや経済、文化や伝統にとって大きな問題があると考え、非常に危惧しています。

岬一帯が大きな軍事基地に変貌



青森・車力と大きく違う配置場所 (提供：京都民報社)



・網目は米軍への提供用地
Xバンドレーダー配置場所
・斜線は新規取得が必要と考えられる場所 (現在農地) (両方とも編集部で記入)
(上の図は住民説明会で配布された防衛省の資料より)

安全の保障なく危険増す

Xバンドレーダーは、米国がミサイル防衛における監視や迎撃ミサイルのための目標捕捉のために開発したものです。強力な電磁波を数千キロ先まで照射するので、人が浴びれば危険といわれています。レーダー周辺は100メートルの立ち入り禁止区域が設定されます。

さらに飛行機に対する飛行制限が設けられます。すでに配備されている青森県車力基地では、半径6キロ、高度6キロとなっています。レーダー本体のほか、発電機や冷却装置など複数のユニットから構成されていますが、車両による移動が可能なタイプです。

丹後が米軍最前線基地に

米国防衛が目的

ヘーゲル米国防長官は、Xバンドレーダー配備計画は「北朝鮮の長距離弾道ミサイルから米本土を防衛するためのもの」と明言。決して日本を防衛するものではありません。

ミサイル防衛構想は未完のシステム

「信頼性の低いもの」と言われているのが「ミサイル防衛構想」です。ミサイルを迎撃できる性能にまったく達していません。レーダー基地を置いたから安全が担保されることはなく、逆に攻撃目標になる危険が増えます。



経ヶ岬へ設置予定のXバンドレーダー

発行元 京都自治体労働組合総連合
TEL: 075(801)8186 FAX: 075(801)3482
E-mail: kyoto-jichirouren@labor.or.jp
ご意見をお寄せください

京丹後市職員労働組合 / 宮津市職員組合 / 舞鶴市職員労働組合 / 伊根町職員組合 / 与謝野町職員組合 / 京都府職員労働組合 (丹後・宮津・舞鶴支部)

発行：2013年4月



米軍基地を認めて 地域の安全は守れるのか!?

レーダー基地では、実弾を使った大規模な軍事演習が行われるわけでもなく、レーダー照射は目に見えるわけでもありません。しかし、地域の安心・安全にとって重大な問題が考えられます。

丹後地域が攻撃目標に

イラク戦争で米軍は、真っ先にレーダー基地を破壊しました。
住民のみなさんが巻き込まれないとも限りません。

北朝鮮政府は、周辺諸国に対して軍事的挑発を繰り返しています。しかし、これに対抗して、レーダー基地設置で軍事的緊張をさらに高めるのではなく、北朝鮮政府が、直ちに核開発、ロケットの開発を中止し、国連安保理決議に従い、平和的な話し合いのテーブルに着くよう平和的・外交的努力をつくすことが重要です。

健康や暮らしに影響はないのか

基地から民家まで、青森県・車力は2キロ、京丹後は数百メートル

住民のみなさんから「健康障害が心配」の声がたくさん出されています。しかし、防衛省は「米軍の軍事機密のため電磁波出力は明らかにされていない」というのみ。これで、どうして「安全」と言えるのでしょうか。

車力基地では、レーダー基地から住宅まで2キロも離れています。一方、京丹後の宇川地域では数百メートルしか離れていません。(地図は表面) Xバンドレーダーは、簡単に照射方向を変えることができます。今問題のオスプレイの飛行訓練でも、日米間の合意は米軍によって毎日のように破られています。米軍との約束が本当に守られるか疑問です。また、漁業をはじめ地域経済、ドクターヘリ運航などへの影響が心配です。

いつまで米軍基地が置かれるのか?

「期間はいつからいつまでか」との質問に対して、防衛省の担当者は何も答えることはできませんでした。戦後70年近くたつにもかかわらず、日本には132ヶ所の米軍基地が存在し、撤去どころか、米軍再編でより近代化・強化されようとしています。一度米軍基地が設置されれば、さらに拡大・強化されるのが全国の場合です。

米兵による被害が発生する危険性

子どもたちが心配

今回の計画では、160人程度の米兵や軍属、関係者が配置されるとされ、各地の米軍基地周辺で起こっている凶悪事件と同種の事故が発生しないとも限りません。この間行われた防衛省の説明会においても、「沖縄のようにならないか」「戦後の苦い経験から、風紀が乱れないか心配」等のたくさんの声が出されました。しかし、防衛省は「事故防止のため関係者で連絡会をつくる」としただけで、心配する声に答えるものではありません。



▲説明する防衛省幹部



▲宇川小学校での住民説明会 (=3月11日)

2006年に米軍Xバンドレーダーが配備された青森県つがる市車力分屯基地では、米兵による死傷事件、女性宅への不法侵入や交通事故が合計9件も発生し、大きな社会問題となっています。(2011年12月9日 東奥日報社説)

日米地位協定に 守られた米軍

安保条約の日米地位協定の下では、米軍・軍属が日本で事件を起こしても、日本の警察が調査・逮捕が出来ません。

軍人は数人なので大丈夫では?

「軍人は数人で、民間企業の技術者や警備員」の説明ですが、この民間企業が問題です。青森県車力基地では、レーダーの警備を請け負っているのは民間の軍事会社です。この民間軍事会社は、イラクで市民多数を殺傷するなど大きな問題を引き起こしています。

米軍基地は 地域の発展に 逆行するのでは

丹後を訪れる全国の人々は、歴史とロマン、豊かな自然と安全で豊富な食、ものづくりの歴史と伝統、温かい地域の人々との触れ合いを楽しみにされています。米軍基地のある丹後は魅力があるでしょうか。丹後地域の各自治体や京都府は、地域の活性化に向けて様々な計画を作成し、職員も地域のみならずとも頑張っています。京都府の丹後地域振興計画のスローガンは「地域の持っている『宝』をいかした『元気な丹後』」です。米軍基地受け入れは、府の政策や各自治体の計画とは全く逆行するのではないのでしょうか。

軍事交付金だけのまぢづくりに 未来はあるのでしょうか

いま、沖縄をはじめ、全国の多くの米軍基地を抱えている自治体では、米軍基地に頼らないまち・地域づくりのために、大変な努力が行われています。すでに米軍Xバンドレーダーが配備されている青森県つがる市には、10年間で約32億円の「再編交付金」が国から降りてきていますが、それも10年限りです。

住民の納得もないうまま 結論を出すべきでない

防衛省は、住民から出された様々な不安や疑問の声に、まともに答えていません。それどころか、「住民の納得がなければ基地建設は進められない」という当然のことですら、まったく触れようとしません。こうした防衛省の姿勢に、住民の声に誠実に向き合う姿勢があるのか、大きな疑問を感じます。米軍基地の建設は、現在と将来にわたる大変大きな問題です。住民の納得がないまま、頭ごなしに押しつけることは許されません。